

基本的視点と基本目標

- 社会減の過半数を占める20～40歳代の若者や子育て世代の減少が続くと人口の再生産が進まず、地域社会の維持が困難になることが懸念されます。
- このような状況を踏まえ、「若い大人を増やす」「子育て世帯を応援する」「農林漁業の担い手を確保・育成する」の3つの視点から事業を検討しました。
- こうした検討結果と国の総合戦略を踏まえ、「生産性が高い稼ぐ地域をつくる」、「東京圏等への人口流出に歯止めをかけ、八峰町への人の流れをつくる」、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「時代に合った地域づくり、くらしの安全を守る」の4つの視点に沿った取り組みを進めていきます。

第2期八峰町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しました!!

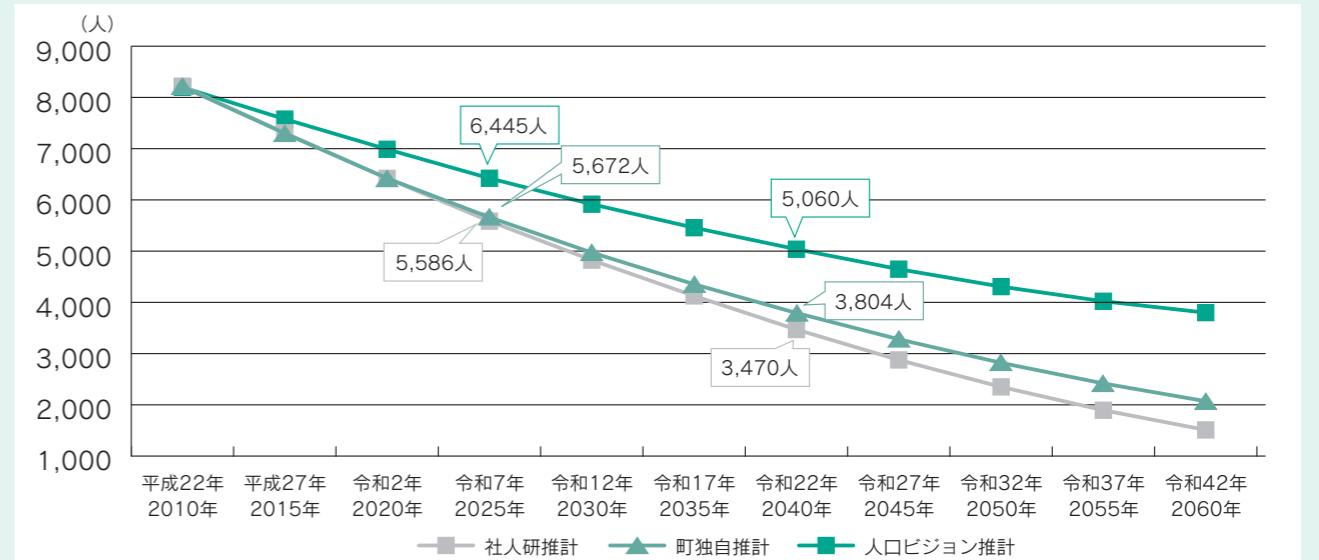
総合戦略とは？

- 若者の東京圏への流出や出生数の減少等による人口減少に歯止めをかけ、八峰町の特徴を生かした「しごと」と「ひと」の好循環を生み出し、「まち」の活性化につなげるために策定したものです。
- 計画期間（5年間）

第1期総合戦略	第2期総合戦略
平成27年度（2015）～ 令和元年度（2019）	令和2年度（2020）～ 令和6年度（2024）

- これまでの取組で、菌床しいたけ産業を中心とした新規雇用者数の増加や社会減の抑制などに成果が現れ始めています。

目指すべき将来人口



- 国立社会保障・人口問題研究所（社人研）が平成30年12月に行った推計によると、令和22年（2040）の本町人口は3,470人とされています。
- 社会減による人口減少の累積に加え、自然減の拡大が進んでいることが人口減少が継続している要因と考えられています。
- 町が平成27年度に策定した人口ビジョンの推計を上回るペースで人口減少が進んでいるため、少しでも減少のスピードを緩めるため次の人口目標を掲げました。

令和7年（2025）	令和22年（2040）
5,672人	3,804人

【基本目標Ⅰ】 仕事づくりの ための産業振興

- ネギ等の園芸メガ団地整備や育てる漁業など付加価値の高い作物等の生産を促進し農林漁業の所得の向上を図ります。
- 新たな分野への参入を目指す個人・企業等を支援することで、成長分野への新たなきっかけづくりを推進します。
- 豊かな自然を堪能できる体験メニュー等を開発することで国内外からの誘客を促進し、地域経済の活性化を図ります。
- 各産業分野への支援を強化・継続し、地元の産業をけん引する優れた人材を確保・育成します。



【基本目標Ⅱ】 定住・移住対策

- 地元定着を望む若い世代や定住希望者が入居することができる経済的負担の少ない住宅の整備などを進めていきます。
- 移住促進イベント開催やホームページ等により町の魅力を町内外に積極的に発信します。
- 首都圏等に居住している町出身の若年層を中心に地域外の人材を積極的に誘致し、移住を促進します。



【基本目標Ⅲ】 少子化対策

- 結婚、妊娠・出産、子育て、仕事と育児の両立といったライフステージに応じた施策を、切れ目なくより強力で推進します。
- 質の高い教育環境と各段階に応じた教育施策を充実させ、学力向上に向けた総合的な取り組みを推進します。



【基本目標Ⅳ】 人口減少社会へ の対応

- 持続可能なまちづくりを目指し、地域を活性化させる取組への支援など、様々な課題に的確に対応しながら、地域コミュニティ機能を維持します。
- 健康寿命を延伸し、すべての町民が生涯現役で地域貢献等していけるよう、心と体の健康づくりに取り組みます。

